

ジオ検定2014 3級 正解と解説

問題	正解	解 説
Q1	B	2014年7月時点での日本ジオパークネットワーク加盟数は33地域。このうち、世界ジオパークネットワークに加盟しているのは6地域。2014年8月には、新たに3地域が日本ジオパークネットワークに加盟し、日本国内のジオパークは計36地域となった。
Q2	C	自然遺産の保護、地域の持続的発展、自然災害への備えは、経済・文化活動を高め地域振興につなげていく仕組みであり、教育とともにジオパークの目的となっている。
Q3	A	伊豆半島から直線距離で桜島・錦江湾ジオパーク（鹿児島県鹿児島市）まで約850km、白滝ジオパーク（北海道遠軽町）まで約1100km。
Q4	A	オーストラリアで発見されたジルコンから約44億年前という年代が得られている。日本最古の鉱物は、富山県でみつかったジルコンで約37億5000万年前のもの。
Q5	B	伊豆半島で現在までに見つかっている最も古い地層は西伊豆町の一色の仁科層群だが、約2000万年前の地層と推定されている。
Q6	D	現在の伊豆・小笠原諸島のような火山島が、フィリピン海プレートの北上によって本州に衝突・隆起して半島となったのが伊豆半島である。
Q7	C	「伊豆は詩の国であると、世の人はいふ。伊豆は日本歴史の縮図であると、或る歴史家はいふ。伊豆は南国の模型であると、そこで私はつけ加えていふ。伊豆は海山のあらゆる風景の画廊であると、またいふことも出来る。伊豆半島全体が一つの大きい公園である。一つの大きい遊歩場である。つまり、伊豆は半島のいたるところに自然の恵みがあり、美しさの変化がある。」川端康成『日本地理体系 第6巻』「伊豆序説」冒頭
Q8	C	海底と陸上の火山活動は、温泉と、変化に富んだ風光明媚な景色を作り出し、プレートの沈み込みによってできた深い湾は豊かな海産物をもたらした。金銀などの鉱山は、かつては国内でも有数の産出量を誇ったが、伊豆でダイヤモンドは産出していない。
Q9	B	箱根ロープウェイ「大涌谷駅」のそばにある。箱根ジオパークやジオツアーの紹介、大涌谷の火山ガス情報や災害対策の紹介をしている。箱根に行く機会があったら、足を運んでみよう。
Q10	D	世界ジオパークネットワーク(GGN)は、2004年に設立された。日本では、2008年に国内の認定機関として日本ジオパーク委員会が発足、認定地域により、2009年に日本ジオパークネットワーク(JGN)が設立された。
Q11	A	万三郎岳 1406m、万二郎岳 1299m、遠笠山 1197m、箒木山 1024m。(国土地理院 地理院地図より)
Q12	C	ほぼ同じ場所から休止期間をはさみつつ噴火を繰り返し、大型の山体をつくる火山を複成火山という。伊豆には天城山の他に多賀火山・達磨火山・棚場火山・宇佐美火山などがある。伊豆周辺では箱根山・愛鷹山・伊豆大島など。
Q13	B	1度噴火すると二度と同じ噴火口からは噴火しない火山を単成火山という。作られる山体は比較的小さく、次に噴火する時は全く別の場所に新しい火口をつくる。単成火山のみの集まりである独立単成火山群は、伊豆東部火山群以外に阿武(山口県)、福江(長崎県)の各火山群などがある。

Q14	D	約1万年前に富士山から流れ下ってきた大規模な溶岩流(三島溶岩)。この溶岩流は、黄瀬川の河床や三島市街のあちこちで見られる。
Q15	B	伊豆半島が海底火山だった時代、噴火にともなう水底土石流の上に軽石・火山灰層(軽石凝灰岩)が降り積もり白い地層ができた。その地層が隆起し、波によって削られ海食洞ができた。それがさらに洞窟の天井が崩れて穴(天窓)が空いてできたのが天窓洞である。天窓洞は国の天然記念物に指定されている。
Q16	A	伊豆東部火山群の火口は、伊豆半島東部の陸地と、伊豆大島との間の相模灘に集中している。北限は伊豆の国市の高塚山で、熱海市には存在しない。
Q17	B	矢筈山(伊東市)は、粘り気の強い溶岩が火口から盛り上がってできた溶岩ドーム。
Q18	B	ラフトは英語で「いかだ(raft)」の意味。さくらの里のスコリアラフトは、大室山の溶岩が西のふもとから流れ始めたとき、山体の一部を崩して運ばれてきたもの。大室山の山体をつくるスコリアは気泡が多く軽いので、いかだのように溶岩流の上に浮き、溶岩流の表面をころがるうちにその周囲に溶岩がまとわりついた。
Q19	C	一碧湖は、マグマが大量の地下水や海水と触れ合い、爆発的な噴火を起こし大きな火口のへこみが残され水がたまってできた。八丁池は活断層のずれでできた断層湖、シラヌタの池は地すべりでできたせき止め湖、松川湖はダム湖。
Q20	B	佐渡金山は江戸時代に入り徳川幕府の重要な財産をなし、江戸時代初期には世界最大級の採掘量を誇る金山だった。
Q21	C	安良里入口の岬、網屋崎はハマボウやウバメガシの群生地。ウバメガシ林は、何度もの津波に耐え「潜在自然植生防災林」として見直されている。
Q22	B	丘陵の斜面を横に掘って墓室とした古墳時代後期の横穴墓で、地元では「柏谷の百穴」と呼ばれていた。東西600m南北250mの範囲に300基以上の横穴墓が残り、静岡県内最大の横穴墓群となっている。
Q23	B	達磨火山は県道127号線(旧西伊豆スカイライン)沿いに位置する。伊豆スカイラインの北側から、大型陸上火山の湯河原・多賀・宇佐美・天城火山が稜線に含まれている。
Q24	A	辛味、甘味、香りの良いワサビを作るためには、豊富できれいな一定の水温を保った水と、透水性の良い土壌、強い日光を避ける環境が必要。伊豆市筏場新田の上流には、約3200年前に噴火を起こしたカワゴ平火山がある。粘り気の強い軽石質の流紋岩質溶岩流にはガスの抜けた気泡がたくさんあり、豊かな地下水を作りだしている。
Q25	C	弁天島(松崎町)も石廊崎同様、海底火山の溶岩流。千貫門(松崎町)や城山(伊豆の国市)・淡島(沼津市)は火山の根(火山岩頸)。火山の根は、火山の直下で冷え固まったマグマが、のちの浸食によって洗い出されたもの。
Q26	A	モリアオガエルは森林に生息し、繁殖期(5月下旬~6月上旬)になると付近の湖沼や池に集まり、水辺にせり出した木の枝に粘液の泡で包まれた卵塊を産み付ける。シラヌタの池は静岡県指定天然記念物。
Q27	A	熱海市にある温泉場のひとつ伊豆山温泉にある。山中から湧き出した湯が海岸に飛ぶように走り落ちる様から「走り湯」と名付けられた。走り湯から837段の階段を上ると、源頼朝が源氏再興を祈願したことでも知られる伊豆山神社本殿に至る。
Q28	C	2014年4月国土地理院は、新たに行った測量で87山の標高を改定。

		間ノ岳は 3189m から 3190m となり、順位が 4 位から奥穂高岳と並ぶ 3 位にアップした。1 位富士山、2 位北岳、3 位奥穂高岳と間ノ岳、5 位槍ヶ岳となった。
Q29	A	大室山は約 4000 年前の噴火でできた。ギザの大ピラミッドは約 4600 年前に建造されたクフ王の墳墓。烏帽子山は伊豆半島が海底火山の時代に地下にあった「マグマの通り道」が地上に姿を現した「火山の根」で数百万年前にできた。
Q30	B	1989 年 7 月、手石島北方 2 km の海底火山の手石海丘で海底噴火した。富士山は西暦 1707 年、箱根山は 13 世紀頃に最後の噴火が起こっている。天城山は約 20 万年前に噴火を終えた死火山。
Q31	D	楽寿館と割狐塚稲荷神社は富士山の溶岩流である三島溶岩、富戸の魚見小屋は大室山の溶岩流の上に建っている。火雷神社は火山の上にある神社であるが、溶岩の上に建っているわけではない。火雷神社には 1930 年の北伊豆地震の際、石段と鳥居の間にあらわれた丹那断層のずれが保存されている。
Q32	A	狩野川が河口に向かい鋭く湾曲し柿田川が合流する地点の内側の小高い山が本城山 (75.3m)。戦国時代、伊豆と駿河の国境を守る山城として北条氏綱が築いた。北条氏と武田氏、豊臣秀吉の小田原征伐まで戦乱の舞台となった。
Q33	B	地球は長期的に見ると温暖な時期と寒冷な時期をくり返し、気温変化に伴う海水の膨張収縮や氷床の増減などによって海面の高さが変化する。約 6000 年前は現在よりも温暖で、数 m ほど海面が上昇していた。狩野川の奥まで湾が入り込んでいたのはこのため。また、関東平野等で「貝塚」が内陸部から見つかるのもこのため。
Q34	D	黄瀬川の支流、桃沢川の源流部に位置し、愛鷹山系の位牌岳に雨が降ると落差 20m の滝が姿を現す。滝の崖には愛鷹火山の溶岩流の板状節理を見ることができる。
Q35	A	登尾南火山は伊豆東部火山群のひとつ。その溶岩流は猿田淵や河津七滝を形成し、見事な柱状節理の景観をつくっている。大滝は七滝の中で最下流部にある最大の落差をもつ滝で、高さは約 30m。
Q36	A	正式名称「駿河湾深海生物館」。駿河湾の深海で捕れた魚・エビ・カニなど約 300 種類が紹介されている。希少な物も多く専門家や愛好家からは一目置かれる施設。
Q37	D	深海魚とは一般的に水深 200m より深い海に棲む魚類。ソラスズメダイは沿岸の岩礁やサンゴ礁に生息するため深海魚ではない。キンメダイ、バラムツ、メヒカリとも深海魚。
Q38	A	毎年 8 月 1 日の夕刻に伊豆の国市神島地区で行われる盆の行事。約 3m 四方のいかだに高さ 5、6m の松明を立て、火を灯して狩野川に流す。いかだの乗り手と、橋の上の子どもたちが「ウ、ウ、ウハイ」と独特の掛け合いをする。
Q39	A	源兵衛川は三島市立公園の楽寿園小浜池の湧水を水源とし、市街地を通り中郷温水池まで流れる全長 1.5 km の灌漑水路。室町時代に地域の豪族、寺尾源兵衛が掘削した。高度経済成長期に水質悪化したが、市民・行政による環境回復運動により「水の都・三島」のシンボルとしてよみがえった。
Q40	A	平安時代の三宅島の噴火をきっかけに、当時の朝廷は三宅島に祀られていた伊古奈比咩（いこなひめ）と三嶋神を白浜神社に遷座し、三宅島の噴火を鎮めようとした。このことから、鳥居の先は三宅島に向いている。
Q41	C	伊東温泉を代表する、昭和初期の建築様式をそのまま残す木造 3 階建の温泉旅館「東海

		館」。現在は伊東市に寄贈され、観光温泉文化施設として多くの観光客が訪れている。テルマエロマエは、古代ローマ時代の浴場と日本の風呂をテーマとしたコメディ漫画。
Q42	C	西伊豆町浮島(ふとう)海岸では、かつての海底火山にマグマを供給した岩脈群(火山の根)が見られる。普通、このようなマグマの通り道を見ることはできないが、伊豆は本州への衝突に伴って隆起したため、もともとは海底火山の地下にあったマグマの活動の痕跡を観察できる。「真夏の方程式」は東野圭吾原作の推理小説で、福山雅治主演のテレビ番組「ガリレオ」シリーズの劇場版。
Q43	A	1954年公開の東宝映画「七人の侍」では東宝砧撮影所付近で集落のオープンセットを作り、村の周辺部や道中には御殿場市から田方方面がロケ地として使われた。鮎壺の滝は、百姓の助っ人として村にたどり着く前のシーンで出てくる。
Q44	D	牛臥山公園駐車場から海岸線を進むと、海底から隆起した溶岩ドームが見られる。付近の大朝神社に日蓮上人が津波被害で苦しむ住民のため、祈祷を行ったという伝説が伝えられている。
Q45	A	大室山は抹茶プリン？ 板状節理は板チョコ？ 『火山のおみやげ伊豆半島 おかしに似ているよ』は、伊豆半島ジオパーク認定ジオガイドが出版した、伊豆半島のジオをおかしに見立てて紹介した絵本。
Q46	D	広津和郎は尾崎士郎の誘いを受け、1927年(昭和2)から伊豆湯ヶ島に出向くようになる。川端康成をはじめとして、大正末期から昭和初期の湯ヶ島は作家や詩人たちが多く訪れ、文士たちの交流の場であった。「昭和初年のインテリ作家」はそのような湯ヶ島が舞台の一部になっている。
Q47	A	黄金崎の崖の地層は海底火山の噴出物だが、後の温泉水や地熱の作用によって変質・変色したもの。この崖は県の天然記念物に指定されている。三島由紀夫は安良里の旅館に約半月滞在し、小説『獣の戯れ』を執筆した。
Q48	A	吉村昭「闇を裂く道」は、16年もの歳月を費やした丹那トンネルの難工事を描いた作品。工事そのものの話以外にも、北伊豆地震の原因やトンネルの安全性についての論争などが描かれている。
Q49	D	湯河原火山(80万年～30万年前)や箱根火山(50万年以上前～(特に20万年～4万年前)の火山灰や火砕流に覆われた土壌では漬物専用大根が栽培されている。七尾たくあんはこの大根を潮風で3週間天日乾燥させ、昔ながらの製法で漬け込んで作られている。
Q50	C	「環境に優しいまちづくり」として、伊豆半島ジオパーク東伊豆ビジターセンターのある建物と公園に3月より温泉熱発電所による供給を開始した。温泉の熱で水より沸点の低い代替フロンを気化させ、その蒸気でタービンを回し発電させるバイナリー発電という仕組み。